

学校法人 明倫学園

2019 年度 事業計画

1. 学生募集対策

(1) 「見つけてもらう」ための情報発信と関係性の構築

- ・ 高校生、社会人、新潟県外者、保護者等、ターゲットごとの、最適で、わかりやすい、話題性のある情報を発信・更新するための体制を組織・運用し、Web サイト PV 数や閲覧者の Web サイト滞在時間を増やす。
- ・ 過去の資料請求者、入学状況や利用媒体業者等の情報を把握するための高校別カルテを作成し、広報担当者間の情報共有を進め、戦略的かつ積極的な高校訪問を展開することにより、進学指導教員との良好な関係を構築し、高校生からの資料請求数を増やす。
- ・ 歯科医院・歯科技工所等の事業所、関係職能団体や校友会等のステークホルダーとの関係性を高め、職業や本学の紹介等の協力により、高校生等資料請求者数を増やす。

主な指標の目標値

- ・ Web サイト PV 数 53,000
- ・ 資料請求者数 900 人（うち本学 Web サイトから 200 人）
- ・ ガイダンス参加者数 150 名

(2) 「選んでもらう」ための広報戦略の展開

- ・ 本学のビジョンや特長について、統一した説明・ツールを用い、「実績と一生涯、歯科技工士と歯科衛生士を続けるならば明倫短期大学」というブランディング想起を目指す。
- ・ 資料請求者、オープンキャンパス参加者、個別見学等オープンキャンパス以外の接触者の個別アフターケアを積極的に進め、入学志願率を高める。
- ・ オープンキャンパスの内容の質的向上、AO 事前相談の改善を図り、オープンキャンパス参加者の入学志願率を高める。

主な指標の目標値

- ・ オープンキャンパス参加者数（実人数）技：53 人、衛：166 人
- ・ オープンキャンパス複数回参加率 技：32%、衛：22%
- ・ オープンキャンパス参加者の入学志願率 技：70%、衛：46%
- ・ 入学定員充足率 80 パーセント

2. 教育改革と学修支援

(1) 学力の分散化への対応

- ・ 学生の学修状況に基づくグループ別指導により、学年GPAの平均値を3%上昇させる。
- ・ 卒業時のアンケート結果より学生満足度を把握し、満足度の低い内容について改善を図る。

(2) ICTの活用

- ・ iPadを活用した授業を行い、Moodle等を利用して学生の理解度を把握し、教育効果を高める。

(3) 中退学の防止

- ・ 学修支援の強化をはかるため、教員だけでなく職員も学生の学修面、生活面の躓きを解消できるように積極的に関わり、離籍率を3%未満に抑える。

主な指標の目標値

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ GPA成績上昇率 3%・ 離籍率 3%未満 |
|--|

3. 経営基盤の強化

(1) 経営ガバナンス強化

- ・ 経営改善計画及び事業計画に基づく行動計画を早期に策定し、理事長を中心とした管理執行体制による実行・見直しを迅速に進める。

(2) 収入源の多様化と経費節減

- ・ 附属歯科診療所と歯友会居宅介護支援センターの地域における医療・介護・福祉の拠点となる「健康ステーション」としての機能を発揮し、地域貢献とともに、その収益性を高める。
- ・ 国際技術交流会館について、寮費等料金設定の見直しを進めるなど、学生寮としての利便性を高め、入寮生数を増やす。
- ・ 寄付金の積極的な募集活動を行うための募集体制を見直し、募集活動を強化する。
- ・ 会議の簡素・省力化を図り、経費節減とともに、学園における「働き方改革」を進め、よりよい職場環境に整備する。

(3) 関連法人との連携強化

- ・ 関連法人との包括連携協定に基づく連携事業について協議し、学生募集や就職活動に繋げる。